

プールで釣ったニジマス 包丁使い三枚おろし

浜松市北区引佐町の奥山小学校のプールを釣り堀にした、ニジマス釣り体験が十五日にあった。同校の児童らは、釣った魚を自ら調理して、給食と一緒に味わった。(安達健)

奥山小児童が特別授業

地元企業など約二十込んで調理を開始。同団体で結成され、同市町奥山のレストランの地域活性化を目指す「きじ亭」の高田直機団体が「はままつ応援社長の指導で、使う機隊」が食育の推進のため、会の少ない包丁を使いこなし、三枚おろしに企画した。

加盟企業の釣具店「イシグロ」(中区)が同校のプールに約百匹のニジマスを放流。四、六年生の児童ら三十四人が、貸し出された釣りざおと網を使って魚を釣り上げた。

夏目彩夢奈さん(こ)は「おいしくできてよかった。さつきまで生きていた魚を自分で釣って料理して食べるのは不思議な感じ。感謝を込めて食べたい」と話した。



①学校のプールに放流されたニジマスをついていく児童ら ②魚を味付けし、フライパンで焼いていく児童ら 〓浜松市北区で